

お知らせ

【法職演習(数的処理①)】 「数的推理」26fy 金3【教室】601 杉山 務

URL : <http://faculty.hakuoh.ac.jp/ip/> 授業連絡メール : sugitom@fc.hakuoh.ac.jp

【授業内容】

- 第 1回 4/11 オリエンテーション<基本となる学力確認>
 第 2回 4/18 1数の計算、2素因数分解、3約数・倍数、4商と余り<p.10~53>
 第 3回 4/25 5記数法、6数量問題、7覆面算・魔方陣、8数列<p.54~106>
 第 4回 5/2 **実力テスト1** 第1章 数と式の計算<p.10~106>
 第 5回 5/16 9一次方程式、10連立方程式、11方程式の整数解、12不等式<p.110~157>
 第 6回 5/23 13時計年齢平均、14集合、15速さ・距離・時間<p.158~195> **中間発表1**
 第 7回 5/30 16旅人算・流水算、17通過算、18ダイヤグラム、19比・割合<p.196~235>
 第 8回 6/6 20濃度、21百分率・増加率、22仕事算、23給排水算<p.236~270>
 第 9回 6/13 **実力テスト2** 第2章 方程式と不等式<p.110~270>
 第10回 6/20 24三角形、25三角形と面積<p.274~303>
 第11回 6/27 26円、27円と面積、28立体図形<p.304~357> **中間発表2**
 第12回 7/4 29場合の数、30順列、31組合せ<p.362~395>
 第13回 7/11 32確率①、33確率②、34確率③<p.396~439>
 第14回 7/18 **実力テスト3** 第3章、第4章 図形、場合の数と確率<p.271~439>
 第15回 7/25 まとめの演習 (**中間発表3**)
 第X回 8/1 **定期試験**

【成績評価の基準と方法】

各回の確認テスト (40分8問) 10回 (30%) 実力テスト (60分15問) 3回 (30%)
 定期試験 (60分20問) (30%) 貢献 (10%) 全体を10,000点として計算

【授業形態・方法】

- (1) 確認テストの後に、前回のフィードバック。必要に応じ不得手な問題の解説
 - (2) 確認テストは15点4問、実力テストは10点5問で問番号を枠囲い表示
 - ※ どれが10点となるかはランダム、出題難易度は、**までを原則とする。
 - 実力、定期の問題は既出も含む。選択肢や数値等の変更の場合何らかの表示あり
 - ※ 制限時間5秒前からカウント開始の時計利用 時間経過後は解答を修正・追加等しない
- ★「自分を律する」ことが重要 公務員は誘惑が多いが打ち勝たなければならない ★**
- (3) 確認、質疑及び授業感想、その他を時間後又はコメント欄に記載する。
 - (4) 授業に遅れた場合前列の空席で解答する。問題と解答用紙は前に配備する。
 - (5) 試験終了後、Webの結果を参照し覚えている間に復習すること (24時間以内掲載目標)

【ハンドアウト】

- ① このお知らせ
- ② 確認テスト見本と解答用紙 テストの回数は授業回数で特定
- ③ 10の式：1から9までの4個を用いて10になる四則演算の式 2%評価 5回終了まで
- ④ 乗算練習：3分間で10台の乗算は何個できるか。 8%評価
- ⑤ 自己紹介記入用紙：フィードバック用に使用する実名と異なるネームを2~5文字で記載

【オリエンテーション】

- 自己紹介：氏名(読み仮名)、希望職種、自己PR、愛称 (2~5文字)
- 問題について「見る、読む、理解する、分かる、**できる**」を目指す
- 採用したい人は「一緒に仕事ができる人、意欲のある人、運のいい人」→運だめし
- 数的だけできてもダメで多方面の努力を願う
- 出題は、テキストからが原則 アレンジ又はテキスト外の問題の場合もある。
- 先入観、思い込みを排除することが必要。**問題を正確に理解し解答**
- 出題者の意図を汲み取り正解に辿り着く努力を。表記1と0, 1/3, 2/4, gや√2